

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 山口県共同募金会

〈はじめに〉

昨年は元号が平成から令和に変わり、共同募金運動は73回目を迎えることとなりました。昨年度は本会が平成30年3月に策定した「共同募金運動の再生10年方針」の推進を図るとともに、「赤い羽根全国ミーティング in 山口」を開催するなど、運動の推進に向けて様々な取組を行いました。

また、昨年は大雨や台風第19号による甚大な自然災害が発生し、本会においても災害準備金を取り崩して支援を行うとともに、義援金募集にも取り組んだところです。

こうした中、令和元年度共同募金は、各市町共同募金委員会と連携して取り組んだ結果、目標額の3億7,081万円余に対して募金額は目標を上回る3億7,152万円余となり、前年度の実績3億5,032万円余を2千万円以上上回っています。しかしながら、これは多額の相続寄付があったことが影響しており、その分を差し引くと880万円の減少となっており、共同募金を取り巻く状況は依然として厳しいものがあります。

本会としては、今後とも、各市町共同募金委員会等と連携し、「じぶんの町を良くするしくみ。」である共同募金運動をより一層推進してまいりますので、引き続き皆様の積極的なご支援・ご協力をお願いします。

1 募金運動の推進

共同募金運動の推進を図るため、市町共同募金委員会の取組を積極的に支援し、既存の募金手法の活性化を図るとともに、新たな募金手法の実施や共同募金のPRに努めました。

(1) 既存の募金手法の活性化

① 戸別募金

実績：1億8,426万円余（前年度：1億8,676万円余）

市町共同募金委員会の取組を支援するとともに、各種メディアを活用した広報活動を行いました。

▽ マスコミへの資料提供

▽ 市町共同募金委員会への募金資材の斡旋 等

② 法人・職域募金

実績：3,707万円余（前年度：4,065万円余）

市町共同募金委員会による法人・職域募金の呼びかけを推進するとともに、県共募では、市町共同募金委員会と役割を分担し、法人等に対して募金を依頼しました。また、募金百貨店プロジェクトの積極的な推進を図りました。

▽ 市町共同募金委員会による取組の推進と、役割分担による募金の依頼

▽ 募金百貨店プロジェクト参加企業の拡充及び関係性の再構築

③ 街頭募金・イベント募金

実績：1,232万円余（前年度：1,317万円余）

商店街や街頭での募金活動、企業等と協働した街頭募金・イベント募金を実施しました。

▽ 市町共同募金委員会による街頭募金の実施

▽ 県共同募金会による街頭募金（10月27日、レノファ山口ホームゲーム
実績：13万円余）

④ 子ども会募金

実績：270万円余（前年度：306万円余）

山口県子ども会連合会と連携して、子ども会を通じた募金を実施しました。

▽ 組立式募金箱の提供（39,428個）

⑤ NHK歳末たすけあい

実績：637万円余（前年度：718万円余）

NHK歳末たすけあい募金の充実を図るため、放送により募金を呼びかけるとともに、山口放送局に募金受入窓口を設置しました。

▽ NHKへの取組強化への働きかけ（開始式及び巢立ち支援のニュース放送）

▽ 募金受入窓口の設置（12月1日～25日）

(2) 新たな募金手法の実施

共同募金は減少傾向にあることから、新たな募金手法の充実に取り組みました。

① テーマ募金

実績：490万円余（前年度：497万円余）

用途を特定した赤い羽根テーマ募金への応募者を公募するとともに、募金を推進するため、ホームページによる広報などを行いました。（県域3団体、市町域4団体）

▽ ホームページによる赤い羽根テーマ募金取組団体の募集

▽ ホームページによるPR及び募金の募集

② UMOUプロジェクトin山口

実績：40万円余（前年度実績：72万円余）

不用になった羽毛製品を回収して羽毛リサイクル業者に引き渡し、収益金を共同募金に寄付する「UMOUプロジェクトin山口」を推進しました。

▽ UMOUプロジェクトin山口のPR（12月19日、萩クリーンセンター）

(3) 運動推進のための取組

共同募金運動を推進するために、寄付文化の醸成や赤い羽根の浸透などを図る取組を実施しました。

① 第9回赤い羽根全国ミーティング in 山口の開催

「地域福祉の充実」と「共同募金運動の再生」の実現に向けた実践につなげることを目的として開催しました。

- ・日 程：令和元年5月30日～31日
- ・開催場所：山口市湯田温泉
- ・加 者：457人

② 寄付文化の醸成

寄付文化を浸透させるため、山口県立大学学生サークルMEP（未来に 笑顔を プロジェクト）と連携し、赤い羽根を活用した福祉教育に取り組みました。

▽ 福祉教育研究指定校等における赤い羽根福祉教育の実施

- ・大内中学校（6月12日、19日）
- ・野田学園高等学校（10月30日）

③ 赤い羽根のPR

赤い羽根共同募金は長年の活動により社会に広く認知されていますが、一層親しんでいただけるよう、様々な場面で赤い羽根が目に触れる環境の創出に努めました。

▽ 赤い羽根オープニングイベントの実施（10月1日 ゆめタウン山口）

▽ 県及び市町社会福祉協議会へのPRの働きかけ

▽ 寄付金贈呈式や助成交付式（4月19日）などを活用したPR

▽ 地域住民と接する機会の多い業種の方への赤い羽根着用の働きかけ

▽ オリジナル赤い羽根募金バッジの制作・提供（レノ丸バッジ）

④ 山口県自治会連合会との連携強化

山口県自治会連合会総会に会長が出席するなど、連携強化に努めました。

- ・山口県自治会連合会総会（7月12日）
- ・長門市自治会長研修会（9月25日）

⑤ 遺贈・相続寄付の取組強化

相続寄付実績額：2件、3,000万円（皆増）

遺贈・相続寄付に関心のある高齢者が増えているとの調査結果もあることから、円滑な受入れに向けて取組を進めました。

▽ パンフレットの配布及びホームページでの広報・啓発

2 地域ニーズを反映した助成

共同募金の使命である地域福祉の充実を図るため、地域ニーズを的確に把握して助成を行うとともに、使途についてもホームページに掲載しました。

(1) 県域助成

きらめき財団が開催する助成事業説明会への参加やホームページによる募集などにより県域の福祉ニーズの的確な把握に取り組み、適切な助成となるよう努めました。

- ▽ 助成事業説明会への参加（2月2日）やホームページへの掲載等
- ▽ 県社会福祉協議会との協議による福祉ニーズの把握

(2) 地域助成

市町共同募金委員会における小地域福祉活動（地区社会福祉協議会、自治会等）への助成とともに、新たな地域課題を踏まえた活動への助成を促進しました。

- ▽ 小地域福祉活動への助成
- ▽ 新たな地域課題に対応するための公募助成の促進

(3) 使途の明確化

共同募金の使途が寄付者に明確に伝わるようにするための取組を推進しました。

- ▽ 助成先からの「ありがとうメッセージ」の取組の強化（写真添付の要請）
- ▽ 公募助成等による透明性の確保及びPR

(4) 配分委員会・審査委員会の機能強化

共同募金の透明化や機能の強化には、配分について審査を行う配分委員及び審査委員の役割が重要であることから、研修への参加を促進しました。

- ▽ 「赤い羽根全国ミーティング in やまぐち」への参加促進

3 組織運営の確立

本会の適切な運営を図るために、理事会等を開催するとともに、市町共同募金委員会と緊密に連携して共同募金運動の推進に取り組みました。また、職員等の資質の向上を図るための研修等についても積極的に実施しました。

(1) 理事会等の開催

県共同募金会の適切な運営を図るため、理事会・評議員会を適宜開催するとともに、募金の適正な配分に向けて配分委員会を開催しました。

- ▽ 理事会 6月7日、6月28日、9月9日、3月（書面表決）
- ▽ 評議員会 6月25日、9月19日、3月（書面表決）
- ▽ 配分委員会 7月24日、9月6日、12月23日、2月26日
- ▽ 市町共同募金委員会事務局長・担当者会議 8月29日、3月（資料配布）

(2) 研修の実施

職員の資質の向上を図るため、研修会等に積極的に派遣しました。

また、昨年度は、一昨年の豪雨災害で延期した「赤い羽根全国ミーティング」を開催しました。

- ▽ 中央共同募金会職員会議（4月22、23日）及び中四国ブロック職員会議（8月1、2日）への職員派遣
- ▽ 「赤い羽根全国ミーティング in やまぐち」の開催（5月30、31日）

(3) 市町共同募金委員会への支援

各地域で共同募金運動を推進する市町共同募金委員会の取組を支援しました。

- ▽ 共同募金運動推進強化特別支援事業の実施（総額：204万円余、11市町共同募金委員会）

(4) 県社会福祉協議会の意見を反映できる協議の場の設定

県社会福祉協議会の事業を円滑に推進できるよう、「福祉の輪づくり計画」に沿った事業ヒアリングを実施しました。

- ▽ 「福祉の輪づくり計画」に基づいたヒアリングの実施

4 その他の取組

災害等準備金の積立や被災地支援、民間資金による助成事業への協力、共同募金協力者の顕彰等を行いました。

(1) 災害等準備金の積立

被災地復興を支援するボランティアセンターの設置・運営を支援するための準備金を積み立てるとともに、台風第19号被災県の支援等を行いました。

- ▽ ボランティアセンター支援に向けた災害準備金の積立 1,000万円
- ▽ 準備金拠出による被災地支援 700万円
- ▽ 災害義援金 410万円余

(2) 被災者への見舞金の支給

火災等による住居の喪失や死者の発生に対して、見舞金を支給しました。

▽ 県内の火災等の被災者に見舞金を支給（102件、172万円）

(3) 民間資金による助成事業への協力

地域福祉を推進するための民間助成事業について、推薦等の協力をしました。

▽ 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業（4件、574万円）等への推薦

(4) 受配者指定寄付金

指定した社会福祉法人等の公益法人に対してなされる寄付金を受け入れるとともに、その実施について周知を図りました。（実績：1件、150万円）

▽ 税制の優遇措置が受けられる受配者指定寄付金の取扱い

▽ ホームページによる広報

(5) 共同募金協力者に対する顕彰

共同募金運動の推進に貢献があった個人や団体を顕彰しました。

▽ 厚生労働大臣表彰、中央共同募金会会長表彰及び知事表彰の推薦

▽ 共同募金運動に功績のあった個人・団体の表彰

《共同募金運動協力者に対する顕彰》

① 厚生労働大臣表彰（2人、1団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	山本誠一	下松市	全国社会福祉大会 ・11月23日
	山本郁枝	柳井市	
奉仕団体	西部ふれあい活動	山陽小野田市	・メルパルクホール東京

② 中央共同募金会会長表彰（3人、1団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	植田浩夫	防府市	全国社会福祉大会 ・11月23日 ・メルパルクホール東京
	阿部五郎	下松市	
	井原八郎	宇部市	
奉仕団体	防府市共同募金委員会	防府市	

③ 山口県知事表彰（2人、2団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備 考
奉仕者	福田幸三	宇部市	山口県総合社会福祉大会 ・10月24日 ・光市民ホール
	市川高正	防府市	
奉仕団体	岩国市立柱野小学校	岩国市	
	周南市母子寡婦福祉連合会	周南市	

④ 山口県共同募金会会長表彰（21人、4団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備 考
奉仕者	渡壁正英	宇部市	山口県総合社会福祉大会 ・10月24日 ・光市民ホール
	渡部孝子		
	徳田 登		
	恵比寿圀夫		
	井本敦子	萩市	
	池部小百合		
	三浦恵子		
	堅多 薫		
	中家菊江		
	北國浩子	防府市	
	田中義雄		
	太田秀信		
	上山公甫		
	原田敬朗	下松市	
	山岡喜久吉		
	宇野保弘		
藏田行雄			
高末佳憲			
中丸和則	平生町		
向井信博			
従事者	西川公博	光市	
奉仕団体	防府スカウト協議会	防府市	
	美川自治会連合会	岩国市	
	徳山シルバーダンス同好会	周南市	
	農事組合法人うもれ木の郷	阿武町	